

大二運分会 第12回定期大会成功裡に終わる！

7月30日、吹田市民会館において、第12回分会定期大会を開催し、昨一年間の闘いの総括と向こう一年間の闘う運動方針を全組合員で決定しました。

大会は、久保埜議長を選出したあと、JR西労の仲間、本部、地本、OB、各分会からと日頃からの関係組合の多くのご来賓から挨拶をいただきました。

高原分会長からこの一年間の闘いの成果と特に「新大阪引き上げ線運転時分30秒延伸」を勝ち取ったことについて、私たちの共感の輪が広がり会社を動かしたとする挨拶がありました。

また、60歳以降の希望する社員の雇用をがちとる取り組みについては、「高齢者雇用安定法改正」に関する署名、国会要請行動を展開し、7月27日の衆議院厚生労働委員会で小林正枝議員の質問において小宮山厚生労働大臣が「継続雇用制度の対象者を限定できる仕組みを廃止する。勧告に従わない企業は企業名を公表できる規定を設ける」とする答弁に触れ、東海労組合員に対し差別的な雇用を拒否する制度を改めさせる答弁であると挨拶がありました。

このことで7月20日に東海労から脱退した大一運小濱元副分会長の脱退理由と言われるところ



(退任された下茂執行委員)



の「東海労では雇用は守られない」ことが覆されるということになりました。

私たちは、この一年間も、引き続き職場に山積した問題に対してこだわりを持ち全力で取り組んで行きます。